

本資料の構成について

・各教科とも以下のような構成を基本としています。

教科名 小学校 学年 単元名・題材名	※出典について 今回の資料は、「埼玉県小学校教育課程指導実践事例集」等で紹介されている学習指導案を基に作成しました。	
「粘土の特徴を生かしながら想像を広げ、つくり方を工夫して自分の気持ちを表す」ことを目標として、感じたこと、想像したことを立体に表す活動です。		
展開中の1から4は、【課題解決のための授業改善の視点】のそれぞれの取組であることを表します。		
【課題解決のための授業改善の視点】 1 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動 2 〔共通事項〕を意識した指導と 3 表現及び鑑賞の能力を高める言 4 活動の場・学習環境の充実	※扱った授業の主な内容についての説明です。 ※ここでは、各教科の実態に即して、授業を改善していくための視点を示しています。「確かな学力の育成」を目指した「授業改善ポイント」 (①見通しと振り返りを意識した授業 ②体験的・問題解決的な学習を取り入れた授業 ③言語活動の充実を図った授業)に関連したものを中心に取り上げました。	
【本時の目標】		
過程 予想される児童の具体的な姿（「」）	学 （〔共〕：〔共通事項〕に示す姿）	評価と手立て 観点[発][創]：評価規準、【評価方法等】 ☆：十分満足できる状況(判断基準付) △：C判断児童への手立て ★教育に関する3つの達成目標との関連 ◎学力向上プランとの関連
あらかじめ活動時間を伝え、常時見えるよう板書等で明示しておきます。 1		
提案 自分の心の中の大切なことや気持ちを思い起こし、工夫して形に表してみよう		
道 ※既習事項の確認(粘土でできること) 「気持ちを表すのか・もやもや、ぐるぐるのイメージも面白いな。」	子を造形化するテーマや言 ついてとらえられるよう に、気持ちを形に表す活動を教師が演示す る。 ○ 粘土の既習事項を確認する。	★学習の準備を整え、授業にのぞむことができる。 ◎学習の見通しをもてるようにする。 今日の学習のめあてを示し、児童の興味・関心を高めるとともに見通しをもてるようにします。ここでは演示しますが、試作や参考作品を用意することも考えられます。短時間で効果的に行うことです。 1
※授業改善の視点について説明しています。	※板書計画を示しています。教師自身が授業の見通しをもって授業に臨めるよう、学習指導案に板書計画を入れています。	※【課題解決のための授業改善の視点】1～4との関連を示しています。
【板書計画】		
※参考にした資料を紹介しています。 参考 小学校学習指導要領解説 図画工作編(文部科学省) 埼玉県小学校教育課程指導資料(埼玉県教育委員会) 埼玉県小学校教育課程評価資料(埼玉県教育委員会) 言語活動の充実に関する指導事例集(文部科学省)		

【学習指導案を作成するとき気を付けたいこと】

- その単元・題材の学習指導要領上の位置付けや小中の接続も意識した学びの系統性を確かめます。
- 指導上の留意点(指導の工夫)では、指導の意図やねらい、手立てが明確になるように示します。「(児童生徒が)〇〇できるように、(教師は)〇〇する。」のように記述すると明確になります。
- 評価規準に達していないと判断される児童生徒については、教師の適切な支援によって規準に達するようになる必要があります。そのため、児童生徒への具体的な支援の内容が明確になるように示します。児童生徒のつまずきの予想から、「(評価規準に達していない児童生徒が)〇〇できるように、(教師は)……〇〇する。」のように記述すると明確になります。(……は、具体的な支援の内容を示します。例;板を斜めに切ってしまおう児童へ「真っ直ぐ切るように助言する。」→「鋸の刃を真上から覗きながら切るように助言する。」)
- 「教育に関する3つの達成目標」の取組や「学力向上プラン」に掲げた取組を日々の授業で実践することが大切です。本時との関連を明確にするために、展開の中で示します。

